

当案内および過去に発行した案内は弊社ウェブサイト(<https://www.medience.co.jp/>)よりPDF形式にてダウンロードできます。

「PD-L1 (22C3) 胃癌」 検査内容変更のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さてこのたび、標記項目はHER2陽性の進行・再発胃癌に対する分子標的薬「ペムブロリズマブ(商品名: キイトルーダ)」のコンパニオン診断薬として承認されました。これに伴い、検査案内への記載事項を下記のとおりに変更いたしますのでご案内する次第です。

よろしくご利用賜りますようお願い申し上げます。

敬具

記

対象項目／変更内容

● [50112] PD-L1 (22C3) 胃癌《IHC法》

変更内容	新	旧
備考	コンパニオン診断薬を用いた検査です(ペムブロリズマブ)。	コンプリメンタリー診断薬を用いた検査です(ペムブロリズマブ)。

- ・HER2陽性の胃癌に対するペムブロリズマブ(遺伝子組み換え)の投与可否を判断するコンパニオン検査としてご使用いただけるようになりました。
- ・HER2陰性の胃癌に対するペムブロリズマブ(遺伝子組み換え)の投与可否を判断する場合はこれまでどおりコンプリメンタリー検査となります。

【ペムブロリズマブの投与基準】

対象患者	投与基準
HER2陽性の胃癌	CPS 1以上

変更期日

● 2025年5月19日(月)より

- ・ご依頼の際は「病理(特殊染色・免疫染色)検査依頼書」をご利用ください。
- ・また、日本胃癌学会「切除不能進行・再発胃癌バイオマーカー検査の手引き」で推奨されるHER2、CLDN18、MSI/MMR、PD-L1の同時検査が依頼可能な「胃癌病理検査専用依頼書」もご利用ください。

